

(様式2)

校種	小・ \oplus どちらかに○	学校番号	14	学校名	宇都宮市立国本中学校
----	-----------------------	------	----	-----	------------

平成31(2019)年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) とちぎっ子学習状況・定着度調査から

- ・(国語) 漢字の読み方や意味を調べる習慣が身に付いていると回答した生徒の割合が73.2%から56.0%に低下した(とちぎっ子)。定着度調査においても、漢字は中学校3学年までの読み、小学校で学習した書きについて、市平均をすべて下回り、課題が残る。
- ・(社会) 定着度調査において公民の領域で市の平均を12,3ポイント下回った。「人間の尊重と日本国憲法」「現代の民主政治と社会」とともに知識・理解の定着が下回った。「知識・理解」の定着及び「資料活用の技能」について、正答分布で社会全体として二極化がみられる。中間層の底上げが課題である。特に基本的な知識・技能を日々の授業で習得させていきたい。具体策として①小テスト・単元テスト②作業的学習等実施していきたい。
- ・(数学) 個人の習熟度の差が大きく、特に正の数、負の数や文字式でつまづいている生徒が多く、新しい学習内容理解が難しい状況である(とちぎっ子)。定着度においても、数と式の領域において市の平均を8.9ポイント下回った。引き続き基礎的基本的事項の反復練習を重ねるとともに、根気強く文章題等に取り組むもうとする態度を育てていきたい。
- ・(理科) すべての領域において市の平均を下回っている(定着度調査)他の教職員との情報を共有し協力して教材研究を行い、お互いの授業を参観していく。さらに生徒や他の教師の授業の感想を参考にし、授業改善に努めていく。
- ・(英語) 定着度調査において書くことの領域が市の平均を6.7ポイント下回った。3領域の中では最も市の平均を下回った。授業中はもちろん、家庭学習においても、書くことの領域の学習は不足する傾向にある。授業中のわずかな時間を利用し、毎日継続して書くことの学習を充実させる必要がある。また、家庭学習においても書くことの充実を図るため、適切な内容の課題を継続して出題する必要がある。
- ・(各教科)
振り返り活動のひとつとして、問題を作る活動を取り入れる等、振り返りの時間を確保し、振り返りの内容を充実させる。

(2) とちぎっ子学習状況調査、学習内容定着度調査：生活アンケートから生徒の実態と課題から 平日のゲームをする時間の質問において1時間以上2時間未満の生徒が昨年度の約20%に対し今年度は約30%に増えた。また、3時間以上4時間より少ないの生徒が市では8.7%であるのに対し、本校では13.6%である。三者懇談や家庭訪問、学級通信等を通して啓発していく。また、家庭学習ノートに保護者のコメント等を記入してもらう。(励ましや助言等)

(3) とちぎっ子学習状況調査、学習内容定着度調査からの今後の課題

家庭学習ノートを継続させ、学習習慣をしっかりと身に付けさせていく。また、生徒一人ひとりの発言力や発言できるクラスの雰囲気づくりのために、学級活動や学校行事において、互いに認め合い協力し合う活動計画の工夫を今後も継続させていく。

2 今年度の重点目標

「生徒を認め生かす授業を展開し、学びに向かう力をもつ生徒の育成」

平成28年度から3か年計画で実施されてきたものをさらに今年度も継続させ、ステップアップを図り、学びに向かう力や人間性を育むための視点を取り入れることで、生徒が自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぼうとする意識や態度を育てていきたい。

3 今年度の取組 (○「小中一貫教育・地域学校園」関連、☆「学校教育スタンダード」関連)

(1) 基礎・基本の確実な定着

☆学習支援をねらいとした学習相談の実施 (定期テスト前・夏休み中に実施)

☆家庭学習ノート・スタンダードダイアリーの継続指導及び指導の工夫 (通年)

☆○発表の仕方やノートの取り方など言語環境の整備、基本的な学習態度・学習技能の定着、「学習の約束」の徹底 (通年)

☆授業改善に向けた3つの視点 (授業の目標、授業の振り返り、自分の考えを書く習慣) に沿った授業改善の実施 (通年)

・基礎的・基本的な学習内容の明確な把握と教材の精選 (通年)

・各授業における「本時のねらい」の徹底 (通年)

・「家庭学習」指導を視野に入れた授業づくりと、基礎的・基本的な知識の定着 (通年)

(2) 学習指導の工夫・改善 (生徒を認め生かす授業の工夫)

・「とちぎっ子学力アッププロジェクト」生徒の学力アップにつながる研修の実施

・「主体的・対話的で深い学び」への授業改善の工夫 (通年)

・教科部会の定期的な実施 (各調査の分析及び分析をもとにした指導の工夫・改善)

☆話し合いや学び合いを取り入れ、多様な視点から課題について考えさせる協働的な学習 (通年)

☆自分が頑張ったことや以前より成長したことなどを自覚できる自己評価の工夫 (通年)

☆○「ノー部活デー」での家庭学習の推進 (ありんこ学習室の利用や学習相談等)

☆とちぎっ子学習状況調査、全国学力状況調査 (11月) 学習内容定着度調査、学習・生活アンケート等 (3月) の結果の分析及び公表

・オープンスクールでの授業研究 (7月、11月)

・学習意欲の喚起と主体的な学習態度の育成 (通年)

・生徒一人一人の能力・適性等に応じた指導の充実 (通年)

☆効果的な発問、指示、助言、板書、ノート指導法の工夫と改善 (通年)

・指導と評価の一体化の推進 (通年)

・授業のねらいの明確化と振り返りのあり方、1時間の授業のスケジュールを考えた授業構築の追究 (通年)

(3) 読書活動の充実

☆全校読書の実施 (毎日)

・ブックトークの実施 (通年)

○図書館だよりの発行 (毎月)

(4) 家庭・地域との連携・協力

☆「茶摘み」「学校農園」「体育祭」「学校祭」などの家庭・地域から協力を得た学校行事の実施

☆学習及びキャリア指導から家庭学習の習慣化を図るための説明 (保護者会、各種通信等)

☆保護者・地域と連携した土曜授業の実施 (全3回実施)

①授業、PTA総会 ②美化活動 ③全市一斉土曜授業 (国本ウォークラリー)